

# 辻町遺跡 3次調査 発掘調査現地見学会資料

平成 22 年 11 月 23 日（火）

財団法人松山市文化・スポーツ振興財団  
埋蔵文化財センター

辻町遺跡 3次調査は、民間の福祉施設建設に伴い実施した埋蔵文化財の発掘調査です。  
調査では、古墳時代の生活面と中世の掘立柱建物跡、溝、土坑、井戸、鋤跡などを発見しました。

## 1. はじめに

辻町遺跡 3次調査は松山平野西部の扇状地上、標高約 15mに立地しています。調査地の周辺では多くの調査が実施されており、縄文時代から近世にかけての遺構や遺物がみつかっています。

そのなかでも有名な遺跡が南江戸町の中央浄化センター建設工事中に古墳時代前期（今から約 1,600 年前）の農業灌漑用『堰（せき）』を発見した古照遺跡です。

## 2. 調査の概要

検出遺構：掘立柱建物跡 1 棟（中世）、溝 9 条（中世）、土坑 11 基（中世）、井戸 1 基（中世）、  
鋤跡 131 条（中世）、水田面（古墳）

出土遺物：土師器（古墳・中世）、須恵器（古墳・中世）、陶磁器（中世）、瓦（中世）、銭貨  
（中世）、種子（中世）

## 3. 調査でわかったこと

調査では、古墳時代と中世の遺構や遺物が見つかりました。

古墳時代では水田面や生活面が見つかり、薄い炭の堆積や焼けた土に混じり土師器や須恵器などの土器が出土しました。

中世では鋤跡がほぼ全域から見つかっており、鎌倉時代から室町時代頃にかけて（今から約 800 ～ 600 年前）の耕作地として使われていたことがわかりました。鋤跡の殆どが南北の真北方向で、僅かに東西方向のものがみられました。また、鋤跡を切り掘立柱建物跡や井戸が見つかり、やや新しい時期になると農耕地から居住を構えたことがうかがえます。全域には中世の遺物を多く含む土が 10 ～ 20 cm程堆積しており、周辺では安定して集落が営まれていたことが推測されます。掘立柱建物跡は南北に 2 間、東西に 1 間の小型のもので倉庫的な建物が考えられます。井戸は素掘りで下部に加工した板材を円形に曲げ組まれたものを据えて井戸枠としていました。調査時は井戸の底から常時湧き水があり、いまでも使用できそうな状態でした。

今後は、周辺に広がっている中世集落の様相や構造を詳細に解明することが重要課題といえるでしょう。



(S=1 : 12,500)

- |              |              |                |           |                |
|--------------|--------------|----------------|-----------|----------------|
| ◎ 辻町遺跡 3次    | ① 岩子山古墳      | ② 斎院茶白山古墳      | ③ 朝日谷 1号墳 | ④ 大峰ヶ台遺跡 9次    |
| ⑤ 大峰ヶ台遺跡 10次 | ⑥ 大峰ヶ台遺跡 11次 | ⑦ 大峰ヶ台客谷古墳群    | ⑧ 南江戸客谷遺跡 | ⑨ 古照遺跡 (1～11次) |
| ⑩ 南江戸鬮目遺跡    | ⑪ 松環古照遺跡     | ⑫ 古照遺跡 (1～11次) | ⑬ 古照ゴウラ遺跡 | ⑭ 古照ゴウラ遺跡 5次   |
| ⑮ 朝美澤遺跡      | ⑯ 辻遺跡 2次     | ⑰ 辻遺跡 5次       | ⑱ 辻遺跡 2次  | ⑲ 辻遺跡 2次       |

周辺の遺跡分布図



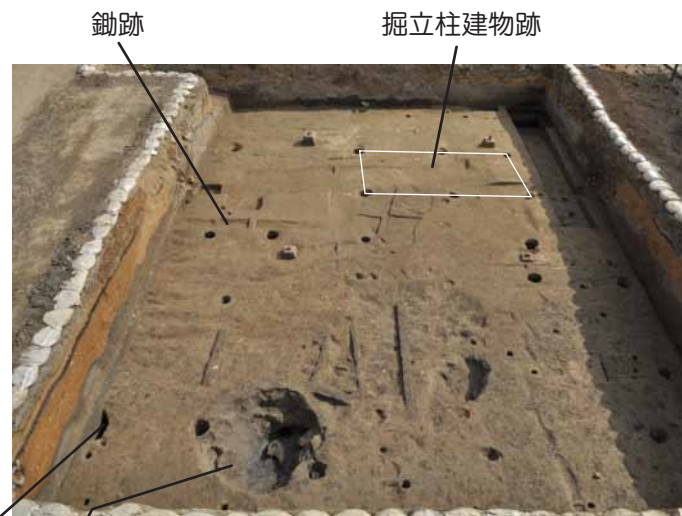


調査風景

発掘調査は技術が進歩した現代でも主に人の手により行われます。掘るだけでなく、図面や写真に記録しながら調査しますので手間がかかります。



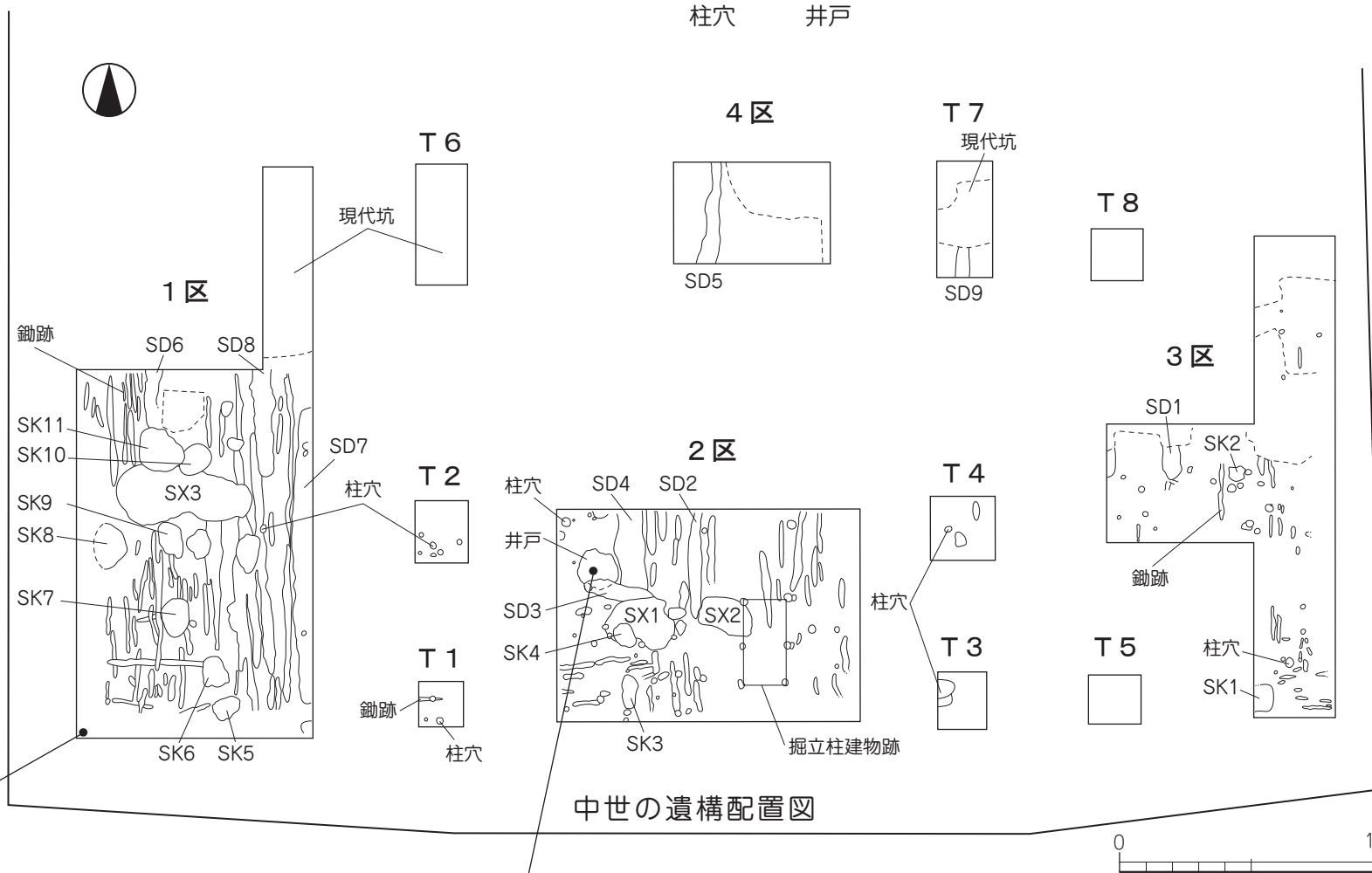
古墳時代の生活面から出土した須恵器



2区の中世遺構完掘状況（西より）



1区の中世遺構完掘状況（北より）



用語説明

- ・遺構 建物の跡や古墳など人々の活動の跡
- ・遺物 活動で使われた土器・石器・木器など
- ・遺跡 遺構や遺物が見つかる場所
- ・須恵器 色調はねずみ色で摂氏 1100 度以上で焼かれた硬質の土器で、古墳時代から平安時代まで使われた
- ・土師器 色調は赤褐色・黄褐色などで、摂氏 800 度前後で焼かれる。古墳時代から奈良・平安時代にわたり長く使われた
- ・陶磁器 陶器と磁器の総称。陶土や良質の粘土を主原料とし、これに長石や石英を混ぜて焼いたもの
- ・銭貨 ぜに・かね・貨幣
- ・S D 溝
- ・S K 土坑（ものを貯蔵する穴・ゴミ穴）
- ・鋤跡 畑を鋤いた小溝
- ・柱穴 柱を建てるために掘られた穴
- ・S X 性格不明遺構
- ・現代坑 現代に掘られた穴



3区の中世遺構完掘状況（北より）



地層の堆積状況



井戸を上から見た状況



井戸を横から見た状況（直径 40 cm、高さ 50 cm）



出土した銭貨

天禧通宝（銅）  
北宋：天禧年間（1017～1021年）